未来世代礼拝　小学生　(高)　礼拝説教　2月②

真の父母様生涯路程「真のお母様の誕生」

今日のお話は「真のお母様の誕生」です。

真のお父様が「神の子」としてお生まれになるために、神様が長い間準備されたように、真のお母様の誕生にも、神様のご計画と準備がありました。

真のお母様が生まれる前に、お父さんの韓承運(ハンスンウン)先生が夢を見られました。美しい陽の光が差し込む中で、二羽の鶴が仲良く羽を広げていました。そこから、真のお母様の御名前は「韓鶴子」(ハンハクチャ)とつけられました。

真のお母様がお生まれになったのは、平安南道(ピョンアンナムド)の安州(アンヂュ)という所でした。都会に近い所で、家の裏には小さな山があり、とても穏やかで温かい感じを与える所でした。

真のお母様の家には、代々昔から言い伝えられているお話がありました。それは、タルレ川に橋をかけたというお話です。

昔から、中国から韓国に来る使節団は、安州を通りました。王様に会うためには、川を渡らなければなりませんでした。しかし、川に橋がかかっていなかったので、向こう岸まで小さな船で渡らなければならず、困っていました。それで、川に丈夫な橋を架けようということになりました。

しかし、国には橋を造るお金がありませんでした。そこで、王様は「中国からの使者を迎えるために、橋を作る立派な人はいないか」と、おふれを出しました。それを聞いた真のお母様の先祖の一人である趙漢俊（チョハンヂュン）は「よし！　私の全財産を使って国のために橋を作ろう！」と、決心し、自分のお金を全部捧げて、川に立派な橋を架けました。

その夜のことです。趙漢俊が寝ていると、夢の中で神様の声が聞こえてきました。「趙漢俊よ、お前の国を愛する真心にわたしは感動した。お前の子孫の中に天女（神の娘）を授けよう！」と、約束して下さいました。その橋は、真のお父様の故郷である定州の村まで続くタルレ川という川に架かっていました。それで、真のお父様もよく知っておられるそうです。真のお母様の先祖が架けた橋は丈夫な橋として有名になりました。

こうして、神様は、約束通り趙漢俊の子孫に、真のお母様を誕生させられました。真のお母様は、1943年陰暦１月６日に誕生されました。普通の赤ちゃんは「オギャー」と泣きますが、真のお母様は「ララララー」と、歌うような声を出して生まれてきたそうです。真のお母様の誕生は、神様にとって最高の喜びでした。

しかし、サタンは、真のお母様の命をねらってきました。真のお母様のお母さんでいらっしゃる洪順愛大母様がワカメスープを飲んで真のお母様を抱いて寝ていたら、角の生えた真っ黒なサタンが近寄って来て「この子が生まれたことによって私は死んでしまう！」と言って、命を奪おうとしました。その時、大母様は「サタンよ、去れー！　この娘は、私にとって本当に大切な娘なのに、どうしてお前は命を奪おうとするのか！」と、叫びました。

大母様が神様に祈ってみると、夢の中で「その子は将来、天の花嫁となるから大切に育てなさい」と、教えられたのです。その時から、大母様は、真のお母様を自分の娘とは思わないで、神様から授けられた「神の子」として大切に育てました。おばあさんの趙元模（チョウォンモ）ハルモニと大母様は、神様を愛し、再臨主を待っていた方々です。それで、真のお母様を心から愛して、天の花嫁として大切に育てました。

真のお母様は、真の母としての使命を果たすために誕生されましたが、ただ生まれてくればよいというわけではありません。幼い時から、色々な試練がありました。神様を自分の父親として愛し、いつも神様に祈り、相談しながら生活してこられたのです。

私達も、真のお母様のように、親である神様に祈り、神様が喜ばれる子女として成長できるようにこれからも頑張りましょう。